

単位制と授業時間外の学習について

- 大学は単位制をとっており、履修した科目の最終評価（定期試験など）で合格点に達すると、決められた単位数が与えられます。
- 国の「大学設置基準」では、1単位に必要な学習時間は45時間と定められています。それに基づいて、関西学院大学を含め、国内の各大学では学則で各科目ごとに単位数を定めています（『履修の手引き』79ページ参照）。言語教育科目を別にする、国際学部の多くの科目は1学期2単位なので、1つの授業科目に必要な学習時間は90時間になります。
- ただし、1つの科目の授業時間は毎週2時間（実際には90分）であり、定期試験を含めて1学期に15週実施します。つまり、教室での授業時間は30時間であり、単位取得のためには、残りの60時間（1週あたり4時間）を学生が自ら学習しなければなりません。
- そこで、学生は各科目のシラバスを参照して授業時間外学習の指示にしたがったり、授業中に提示される参考文献を読んだりすることによって、**授業時間外の学習（予習・復習）に努める必要があります。**
- その時間を確保するために、大学では各学期ごとに履修できる単位数の上限を定めています。国際学部の1年生の場合、24単位が履修単位数の上限です。高校までと比べると、授業を受ける時間が少ないように感じるかもしれませんが、上記のように、空いている時間を活用して学生が自ら学習することが求められているからです。